

+++++

「植物と人々の博物館メールマガジン」 第53号 2019年3月21日発行

+++++

山里も、やっと春めき、梅が咲き、フキノトウも出て、自家製味噌でふき味噌を作りました。山畑にも、ジャガイモを植え付け、ニンジンと夏ダイコンを播種しました。これから、九条ネギやタマネギ、キャベツ、カリフラワーもよい苗になったので定植します。

庭先では、スナップ・エンドウがなり始め、ミズナやホウレンソウ、ディール、レタスが良好です。キャベツやルッコラなど葉物を播きましたが、よく発芽しています。東京の桜は今日が開花日でしょう。

植物腊葉標本の他、写真スライドなど、図書を整理しています。利用していただけるとうれしいです。会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。

なお、自然文化誌研究会の全体の活動は会誌「ナマステ」季刊でお知らせしています。友の会会員になっていただければうれしいです。

また、顔見知り信頼のクチコミで友人・知人に広く転送伝達していただけるとありがたいです。

○報告

1. 今年から山畑は、縄文人の森の畑1カ所にします。植物と人々の博物館のすぐ上にある丘の斜面で、眺望が良いです。ここに穀物等の見本園も移します。

○予定

1. 植物と人々の博物館開館・作業予定日：2019年3月1日（金）、3月9日（土）、15日（金）、20日（水）、4月1日（月）、8日（月）の予定です。

植物と人々の博物館／森とむらの図書室では、順次、図書・植物標本・資料や民具の展示解説をしています。ご利用くださるとともに、作業にご協力いただきたく、よろしく願います。ご利用や協力いただける方は黒澤または木俣にメールしてください。

ご都合に合わせて、上記以外でも日程調整します。場所は小菅村井狩集落バス停近く、細川邸の前、道の駅臨時駐車場の坂を下ってすぐです。工事中の細川邸は7月に古民家旅館としてオープン予定のようです。

学大探検部収集の民具類も整理・収蔵・展示しています。

しばらくはインド亜大陸収集の標本や小林央往さんの収集標本（トルコやルーマニア含む）の整理をします。

森とむらの図書室（小菅現在約 3500 冊、藤野分室約 1500 冊、将来総計約 7000 冊以上）に環境と教育関係の図書（国内外含む）の多くを整理しました。

順次資料のリストはホームページで公開しますので、ご利用ください。

2. NPO 環境文明 21 の憲法部会： 3 月 28 日、田園調布で開催です。

3. 岐阜の森林学園の一行が、3 月 26 日に来訪予定です。

4. 食農教育座談会 3： 次回の開催は福田先生の学校を訪問する予定です。人間の文明史など読書会も良いかなと思います。日本村塾の自給農耕ゼミ、民族植物学ゼミ、扶桑こくゼミは、希望者があれば日時・場所・話題などを調整して、読書会を開催します。

5. 雑穀街道と FAO 世界農業遺産

『自然栽培』誌 18 巻に取り上げていただきました。FAO 世界農業遺産関連情報をお伝えするウェブページ『雑穀街道』では、雑穀街道普及会の賛同者を募っています。2 年後にはぜひ申請できるように、賛同が広がるようにどうぞご援助くださいますようお願いいたします。

FAO 世界農業遺産ですから他地域や外国の方々も含めて賛同者を増やすように、一層のご助力をお願いいたします。

下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。

世界農業遺産などに関する紙ベースの資料・図書は「植物と人々の博物館／森とむらの図書室」で閲覧していただけます。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

なお、『日本雑穀のむら』第 3 章関東地方・第 4 章関東山地で、雑穀街道地域の調査研究の成果（1974～2017）をまとめてあります。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millet/sn/jnmpilvil.html>

6. 民族植物学第 12 号が出来ました。愛媛の宮本さんに綺麗に編集していただきました。順次会員や希望者にお送りします。次の第 13 号からは電子出版のみにする予定ですが、いつでもご寄稿を歓迎します。

バックナンバーは僅少ですが、希望者に差し上げます。これまでのすべての記事 pdf は植物と人々の博物館ホームページ（ミュージアムグッズ）で読めます。

メールマガジンもすべて記録してあります。会誌ナマステは自然文化誌研究会のホームページで読めます。

7. 『雑穀の民族植物学—インド亜大陸の農山村から』は民族・信仰について学びながら、南アジアについて、個人の現地調査の体験をまじえ、自由に書いています。現在は第9章スリランカとバングラデシュの雑穀を研究会に参加し、文献を読んで、学んでいます。今年はインド亜大陸の著述に時間を使います。補論として、植物と信仰について論考を深めたいです。『日本雑穀のむら』は第5章中部地方の雑穀文化複合、補論3 副食主菜の起源を検討しています。『第四紀植物』および“Essencals of Ethobotany”はまだ非公開ですが、書き進めています。これらは、下記の雑穀・民族植物学関係個人ホームページで読めます。

引用してくださる場合は、順次必要に応じて改訂していきますが、とりあえず「木俣（2019）」としてくださるようお願いいたします。

『環境学習原論—人世の核心』（2019）は是非一読いただきたいです。

~~~~~

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）

ミューゼス研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか

雑穀街道普及会

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） [npo-inch@wine.plala.or.jp](mailto:npo-inch@wine.plala.or.jp)

公式 HP：自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

メールマガジン発行：木俣美樹男 [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

雑穀・民族植物学関係の個人 HP: 生き物の文明への黙示録

<http://www.milletimplic.net/>

~~~~~